

2023年6月13日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ

清水エスパルス・静岡市とのビーチクリーン活動実施

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、2023年5月にクラブパートナー契約を締結しました清水エスパルス及び静岡市（三保松原文化創造センター みほしるべ）と2023年6月4日(日)に三保松原保全イベント（松葉かきボランティア）をビーチクリーン活動の一環として実施いたしました。



1. イベント内容

主催：株式会社エスパルス、静岡市（三保松原文化創造センター みほしるべ）

協力：フクシマガリレイ株式会社

活動実施日：2023年6月4日(日) 実施場所：清水三保海浜公園（静岡市清水区三保 2110-9 地先）

当日参加者：約 200 名 松葉回収量：3 万リットル

○三保松原とは

清水エスパルスのクラブハウス・練習場のある三保半島は、富士山頂から南西に約 45km 離れた静岡県静岡市清水区にあり、沿岸の約 5km にわたり松林がつついています。この松林が「三保松原」と呼ばれ、1922 年に日本初の名勝に指定、2013 年 6 月に世界文化遺産「富士山」の構成資産に登録されました。

○松葉かきの必要性

三保松原を形作る3万本のクロマツは、栄養が少なく暑く乾燥する海辺の環境でも立派に育ち、海からの風や砂を受け止め家や畑を守る役割を担っています。美しい松原の風景と防風林としての松原を維持するためには、①マツ材線虫病から守る、②遷移を止める、③マツの世代交代を促すことが必要であり、人の手による様々な保全の取り組みが必要です。

2. 活動目的

清水エスパルスと静岡市（三保松原文化創造センター みほしるべ）は、2023年6月に富士山世界文化遺産登録10周年を迎える「三保松原」の保全啓発活動を実施されています。

フクシマガリレイはサステイナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を掲げ、温室効果ガスの排出量実質ゼロに挑戦しております。その「℃を超えた挑戦」のアイコンであるクジラ

(<https://www.galilei.co.jp/sustainable/concept/>)を守りたい、そしてそれを育む海を守りたいの思いよりビーチクリーン活動をスタートし、本活動はその初回となっております。

今後は自社独自で継続的にビーチクリーン活動を実施し、脱炭素社会の実現及び社会貢献に努めてまいります。



お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：経営企画部 経営企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

URL：<https://www.galilei.co.jp/>